

長崎大学
海洋未来イノベーション機構 (OMST) セミナー
「海と地球と人と」

第6回東京セミナー
「海洋再生可能エネルギーの開発とその水産・海洋産
業への展開」

主催：長崎大学海洋未来イノベーション機構

日時：2018年3月14日(水) 13:00～17:00

会場：都市センターホテル 601 会議室 (東京都千代田区平河町)

<https://www.rihga.co.jp/toshicenter/>

共催：長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

日本財団オーシャンイノベーションコンソーシアム

後援：長崎県

長崎大学では、長崎県五島周辺海域の海洋再生可能エネルギーの実証フィールド認定にともない、海洋再生可能エネルギー開発とその水産・海洋産業への展開を進めるべく、これらを総合的に研究するための組織として海洋未来イノベーション機構を立ち上げました。この機構では、1) 洋上風力発電と潮流発電を中心とした海洋再生可能エネルギーの開発、2) 環境共生型のエネルギー開発を進めるための工学技術開発とエネルギー施設周辺の環境モニタリング、3) 再生可能エネルギーを活用した離島産業の振興、4) 新たな水産養殖技術開発に視点をおいた再生可能エネルギーと水産業との共生、を主要課題にあげ、研究活動を開始しています。また本機構では、<https://www.rihga.co.jp/toshicenter/>長崎県内の産官学によって形成された長崎海洋産業クラスター形成推進会議と連携し研究や人材育成を進めています。近年、海洋再生可能エネルギー開発とその水産海洋産業への活用は、世界各地で進められておりますが、我々の活動は我が国における本格的な産学官連携による試みとして注目されています。そこで、これらの活動を広く紹介することを目的として、本セミナーを開催することといたしました。

本セミナーは、長崎大学の海洋環境研究を紹介することを目的としてこれまでに実施されたセミナー表題「海と地球と人と」を継承し、第6回東京セミナー「海洋再生可能エネルギーの開発とその水産・海洋産業への展開」として開催することといたしました。本セ

ミナーでは、海洋未来イノベーション機構が取り組む課題について現状の紹介を交えながら話題を提供させていただきますが、今後、各課題について少人数のセミナーを継続的に開催する予定です。

募集人数：90名

募集方法：インターネットによる事前申し込み制

参加費：無料

プログラム

12:30～ 受付開始，開場

13:00 開会

13:00～13:10 開会挨拶 武田重信（OMST 機構長）

13:10～13:20 学長挨拶 河野 茂（長崎大学長）

13:20～13:40 話題1 彦田彰秀（OMST 副機構長）
『海洋未来イノベーション機構の取り組み（海洋再生エネルギーの現状と必要性、水産との共生）』

13:40～14:00 話題2 森田孝明（OMST 機構長特別補佐、長崎県）
『長崎海洋産業クラスター形成推進協議会と大学の連携』

14:00～14:30 話題3 吉田正則（日本財団海洋開発人材育成推進室長）
『海洋エネルギーおよび海洋人材育成に関する日本財団の取り組み』

14:30～14:50 話題4 経塚雄策（OMST 海洋エネルギー開発部門長）
『潮流発電に関する長崎大学の取り組み』

- 14:50～15:05 話題 5 織田洋一（OMST コーディネーター）
『洋上風力発電と水産業（養殖）との共生が創出する新たな海洋産業の可能性』
- 15:05～15:20 休憩 15分
- 15:20～15:40 話題 6 山本郁夫（OMST 海洋エネルギー利用部門長）
『海洋エネルギー関連機器開発～ロボット IoT 技術の研究開発～』
- 15:40～16:00 話題 6 河邊 玲（OMST 環東シナ海環境資源研究センター）
『洋上に出現した風車は魚を集める効果があるか？：海洋環境と魚類行動モニタリングの必要性』
- 16:00～16:20 話題 7 征矢野清（OMST 副機構長、環東シナ海環境資源研究センター長）
『インテリジェント養殖と水産業へのエネルギーの活用』
- 16:20～16:45 総合討論
司会：織田洋一（OMST コーディネーター）
- 16:45～16:50 閉会挨拶 武田重信（OMST 機構長）